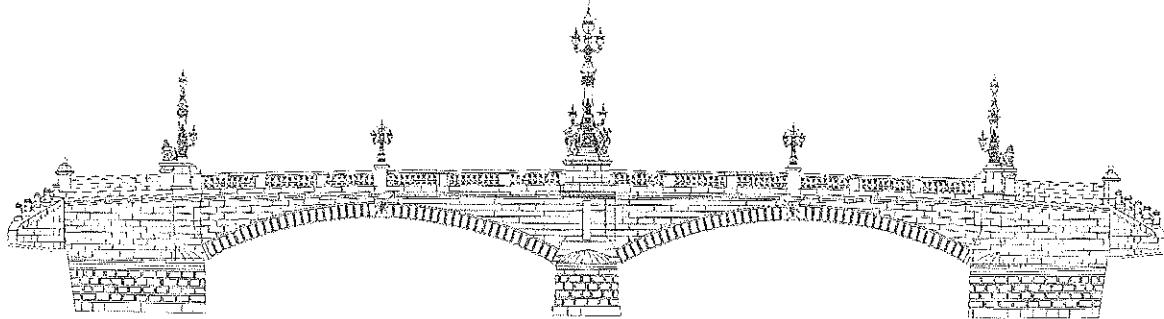


「日本橋に青空を！日本橋川に光を！」



御礼とご挨拶

日本橋地域では長きに渡り、防災および景観改善の観点から、頭上を覆う首都高速道路の撤去（移設）を求めて活動して参りましたが、7月21日の報道のとおり、国土交通大臣と東京都知事が、この首都高速道路について、周辺の街づくりと連携し、地下化に向けた具体策の検討を始めると表明されました。

活動の一つとして私どもが3年前から取り組んで参りました「首都高速道路の撤去(移設)を求める請願」に向けた署名活動では、結果として総計約44万2千名の方々の署名を集めることができ、紹介議員を通じ衆参両院議長へ提出いたしました。

このような地道な活動が実を結び、今回の国と東京都の発表へと大きく前進いたしましたのは、ひとえに日本橋をこよなく愛し、活動を応援してくださっている皆さま「日本橋ファン」のおかげでございます。
心より深く御礼申し上げます。

今後も日本橋地域は、2020年の東京五輪・パラリンピックを見据えながら、江戸から続く歴史・文化を継承した潤いと活気のある、世界に誇れる都市づくりを目指して参ります。倍旧のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

本来ならば拝眉のうえご挨拶申し上げるべきところでございますが、略儀ながら書面をもって御礼申し上げます。

平成29年8月吉日

名橋「日本橋」保存会

日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会

日本橋地域町会連合会

平成30年11月12日

(総会資料から)



「首都高日本橋地下化検討会」が検討結果を発表！



清水建設株式会社様ご提供

日本橋は、1603年江戸幕府開府とともに架橋、1911年現在の石造りに改架、そして1963年、上空に首都高が開通しました。

爾来55年が経過した今年7月、国・東京都・中央区等により、「首都高日本橋地下化」の検討結果が発表されました。計画では事業完了まで10~20年。実現すれば、約70年ぶりに空を取り戻すことになります。